

1. 多様な日本の文化・芸術の海外への紹介

(P.17-18 参照)

(1) 外交上重要な機会、地域・国への重点的な対応

①米国

「日米同盟深化のための日米交流強化」フォローアップ：ニューヨーク近代美術館における『TOKYO1955-1970: 新しい前衛』展と「アート・シアター・ギルドと日本のアンダーグラウンド映画 1960-1984年」映画特集上映会の同時開催、論文集『From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989: Primary Documents』出版支援

「日本桜寄贈 100 周年」記念：武道紹介レクチャー・デモンストレーション、津軽三味線公演、石見神楽公演、ロボット演劇公演等の巡回など

②中国

日中共同制作演劇「能と昆劇による The Spirits Play 靈戯『記憶、場所、対話』」公演

建築展「3.11—東日本大震災の直後建築家はどうか対応したか」に合わせた建築講演会など

③東南アジア

「日本・ASEAN 友好協力 40 周年」開幕記念：邦楽公演（カンボジア、ミャンマー、ラオス）

「ミャンマー文化・スポーツ交流ミッション」フォローアップ：漫画講演・ワークショップ（ミャンマー）

「日本・東ティモール友情と平和の年」（日本・東ティモール外交関係樹立 10 周年記念平和年）記念：音楽公演・ワークショップなど

④南アジア

「日印国交樹立 60 周年」「日バングラデシュ国交樹立 40 周年」「日スリランカ国交樹立 60 周年」記念：邦楽公演（インド、スリランカ、バングラデシュ）、和菓子レクチャー・デモンストレーション（インド）など

⑤イスラエル

「日本・イスラエル外交関係樹立 60 周年」記念：歌舞伎舞踊公演、日本・イスラエル現代演劇共同制作プロジェクト『トロイアの女たち』公演、『ダブル・ヴィジョン—日本の現代美術』展など

⑥ロシア

仙台フィルハーモニー管弦楽団公演、モスクワ国際知的図書展“non/fiction”日本ブース出展と作家講演会など

⑦英国

ロンドン・オリンピック関連事業：野外芸術祭「テムズ・フェスティバル」参加 奥州金津流獅子躍公演、「ヨーコ・オノ」展への助成など

(2) 広く全世界に向けた継続的な事業展開

①国際交流基金海外巡回展

現代アート、デザイン、建築、写真、工芸、武道、ポップカルチャー等、さまざまなテーマの下に制作した巡回用展覧会を 56 カ国 93 都市において開催（のべ 106 展）。

②日本映画上映

国際交流基金フィルムライブラリーを活用した日本映画祭・日本映画上映会を 67 カ国 1 地域で 100 件実施、25 カ国における 55 件の日本映画上映会に対し経費を支援。さらに、日本の劇映画やドキュメンタリーに外国語字幕を付けた DVD 計 7 作品 308 枚を海外拠点と在外公館に配布して日本映画上映の機会を提供。

③テレビ番組紹介

ドラマやドキュメンタリー等日本のテレビ番組 16 番組を 15 カ国で放映。

④出版・翻訳助成

21 カ国で 40 件の日本の図書の翻訳・出版を支援。

⑤国際図書展参加

世界各地で 14 件の国際図書展に参加。ブース出展に合わせて、講演会や映画上映会、伝統芸能公演、折り紙教室、漫画教室等の日本文化紹介事業を実施。

⑥国際美術展・建築展参加

ヴェネツィア・ビエンナーレ第 13 回国際建築展に参加。日本館展示『ここに、建築は、可能か』は金獅子賞（グランプリ）受賞。また、第 15 回アジア・アート・ビエンナーレ・バングラデシュに出展し、うち 1 作品が最優秀賞受賞。

(3) 日本文化紹介・文化交流の基盤づくり

①専門家交流

米国、アラブ（アラブ首長国連邦、オマーン、カタール、バーレーン）、アジア（韓国、台湾、フィリピン、マレーシア）等の学芸員や美術関係者の招へい

国内外の学芸員による国際シンポジウム等の開催など

②情報発信

「performingarts.jp」：現代日本の舞台芸術関連情報を紹介する日英 2 カ国語ウェブサイト 年間アクセス数 463,128 件、メルマガ登録者数 1,149 名

「日本映画データベース（JFDB）」：年間アクセス数 539,272 件

「Japanese Book News」：日本の新刊書や最新出版情報を紹介する季刊英文ニュースレター 5 巻（各 5,000 部、計 25,000 部）発行

「日本文学翻訳書誌データベース」：年間アクセス数合計 4,366 件

2. 文化・芸術を通じた世界への貢献(P.19-20 参照)

(1) 双方向型、共同作業型の交流事業

①国際共同制作事業

『トロイアの女たち』(イスラエル)

「能と昆劇による The Spirits Play 霊戯『記憶、場所、対話』」(中国)

『祝/言』(中国、韓国)などの演劇共同制作や美術展の共同企画など

②双方向型の人的交流/専門家間のネットワークづくり

「国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)」の開催とそれに合わせた舞台芸術関係者の招へい

外務省主催「第6回国際漫画賞」受賞者の招へい(中国、インドネシア、タイ)

国内外の学芸員による国際シンポジウム等の開催など

(2) 世界共通の課題への取組み

①文化遺産保護・継承、環境問題等に取り組む事業

アルメニア染色文化財保存修復協力、グアテマラ・マヤ文明世界複合遺産ティカル国立公園保存活用協力事業、環境問題をテーマに日本とモルディブが共同で企画した『呼吸する環礁:モルディブ・日本現代美術展』など

②東日本大震災復興に向けた事業

仙台フィルハーモニー管弦楽団ロシア公演、南三陸町鹿子踊米国公演、奥州獅子躍英国公演、三陸牡蠣料理レクチャー・デモンストラーション、復興担い手建築家・専門家によるシンポジウム・講演、南三陸一チリ青少年音楽・詩作交流、宮城ーニューオリンズ青少年ジャズ交流、気仙沼ホヤをテーマとする紙芝居日仏共同制作と読み聞かせ会、ノルウェー・スコットランドのアーティストたちの福島滞在制作支援など

〔文化芸術交流事業プログラム〕

(本文中に件数が明示されているプログラムを除く)

日本文化紹介派遣…………… 30件(66カ国97都市)

舞台公演…………… 15件(27カ国49都市)

企画展…………… 8件(9カ国10都市)

専門家交流…………… 12件(10カ国1地域7都市)

日本文化紹介助成…………… 54件(36カ国73都市)

海外展助成、
市民青少年美術交流助成…………… 71件(32カ国62都市)

海外公演助成、
市民青少年公演助成…………… 100件(60カ国1地域223都市)

パフォーミングアーツ・ジャパン
(北米、欧州)…………… 21件(12カ国49都市)

文化協力…………… 8件(9カ国14都市)

文化協力助成…………… 17件(18カ国27都市)

被災地の芸術家・専門家による
公演・実演…………… 4件(6カ国11都市)

被災地で活動する復興の
担い手による講演・対話事業…………… 10件(7カ国10都市)

被災地での文芸活動支援と
その成果による交流事業…………… 4件(5カ国)

3. 将来に向けた日中交流の担い手育成 (P.21 参照)

(1) 中国高校生長期招へい事業

第6期生32名が研修を終えて帰国、第7期生32名が新たに来日。

(2) 「ふれあいの場」設置・運営事業

中国国内11都市に設置された、ふれあいの場を運営。のべ来場者数(含雑誌・書籍等閲覧者)は43,863人。

(3) 日中交流担い手ネットワーク整備事業

派遣事業5件、招へい事業2件を実施、事業情報の発信、関係者間の情報共有と連携強化のために、オリジナルウェブサイト「心連心ウェブサイト」を運営。